

米国学術研究の動向

国立保健衛生研究所(NIH)がFY2012の予算要求案を発表

2月14日、国立保健衛生研究所(NIH)は、2012年度(FY2012、2011年10月1日～2012年9月30日)の予算要求案を発表した。予算総額では、FY2010(約310億8441万ドル)と比較して約2.4%増の約318億2900万ドルを計上している。

1. National Center for Advancing Translational Sciences(NCATS)の設置

FY2012での最も大きな動きとしては、新センター、“National Center for Advancing Translational Sciences(NCATS)”の設置がある。このセンターの設置により、NIH内各研究所にあったいくつかの研究を統合し、病気の診断から治療法の発見、開発までを円滑に結び、研究成果の実用化をよりスピードアップすることが期待されている。

NCSTでの主なプログラム

① The Molecular Libraries Program(MLP)

化学ライブラリーでの検索で新薬の治療可能性について分析できるような技術を提供する。

② Therapeutics for Rare and Neglected Diseases(TRND)

罹患者の少なく顧みられない病気の実用化を促進するため基礎研究と新薬の試験の橋渡しを行う

③ NIH Rapid Access to Interventional Development(RAID)

新薬候補を生み出し、その安定性や毒性のテストなどといった新薬の開発を行う、重要で緊急な資源の開発のためのプログラム

④ NIH-FDA Partnership

2010年に Regulatory Science を養成するために始められた、試験的な治療、予防薬、や診断を評価・分析するための専門的で学際的な Biomedical Research の分野での米国食品医薬品局(Food and Drug Administration)との協力事業

⑤ Cures Acceleration Network(CAN)

研究成果から臨床試験までのバリアを減らし、治療への道筋を早めるネットワーク
 (“Affordable Care Act”により認定)

⑥ Clinical and Translational Science Award

Biomedical Researchにおいて、臨床研究や translational investigator の育成などにより治療法開発の促進を目的とした研究機関のコンソーシアムを支援するプログラム

2. NIHの3つの重点分野 “Three Areas of Exceptional Opportunity”

① 最新テクノロジー利用による、発見の促進(Technologies to accelerate discovery)

DNA解析、マイクロアレイ技術、ナノテクノロジー、画像 modality、computational biology の活用

- ② データベース等による事実に基づいた医療決定の推進 (Enhancing the evidence base for health care decisions)

“Health Maintenance Organization Research Network Collaboratory” への支援などによる、個人の症例に合わせた治療法や、数多くの患者の症例を参考とした実績に基づく、新しい治療薬や治療法の効果の検証をサポート

- ③ 若手研究者の育成により新たなアイデアを (New investigators, new ideas)

2つの事業による若手研究者の育成により、常に優秀な研究者を確保

“the NIH Director’s New Innovator Award” インパクトの高いプロジェクトを推進する研究者を支援

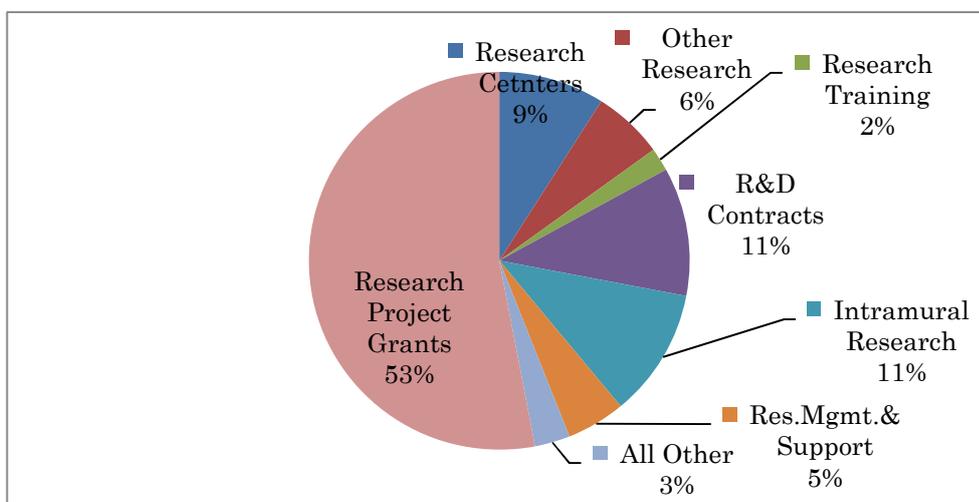
“Early Independence Award” 優秀な若手研究者が博士号取得後すぐに独立出来るよう支援

3. FY2012継続して実施する重点支援

NIH では次の研究分野についても引き続き、重点的な支援が行われる。

- ① 自閉症、がん、アルツハイマーの研究 (Autism, Cancer and Alzheimer’s Disease Research)
- ② ゲノム解析コストの削減 (Genome Sequencing Cost Reduction)

4. 予算要求案を Research Center、通常の研究支援及び研究者養成等のプログラムで外観した場合



Research Project グラントは NIH の FY2012 予算案の50%を占める。グラントは計 9,158 件もの競争的資金が配分される予定 (FY2010 年より 228 件減)。金額では 39 億 6,900 万ドル(日本円で約 3,570 億円)、FY2010 年より 54 百万ドル(日本円で約 48 億 6 千万円)、約 1.4%増えている。

NIH は競争的資金・非競争的資金の双方で FY2011 と比べて1%増までに抑える予定とのことである。

その他、Research Center で 4 千 100 万ドル(日本円で約 36 億 9 千万円)増の 30 億 3,600 万ドル(日本円で約 2,730 億円)、NIH 内部の研究費配分となる Intramural Research Program で 5 千万ドル(日本円で約 45 億円)増の 33 億 8200 万ドル(日本円で約 3,044 億円)となっている。

参考:

○NIH の FY2012 予算発表資料(NIH 予算発表説明会にて入手)

“National Institute of Health Summary of the FY2012 President’s Budget”

○米国科学振興協会(AAAS)ウェブサイト

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2011/02/president-would-give-nih-slight.html?ref=hp>

(日本学術振興会 ワシントン研究連絡センター)